

## 令和4年度 別府市地域教育力活性化事業 家庭教育支援部会 「家庭教育推進大会」

家庭や地域の教育力を高めることを目的に「家庭教育推進大会」を  
12月17日 ビーコンプラザで開催しました！！

講演会では、ビリギャル小林さやかさんの母 橘こころさんを  
講師にお迎えして「笑う子育てに福きたる～いい親ではなく笑う  
親でいんやないん!?～」というテーマで御講演いただきました。

自身の子育て体験談をまじえながら、子どもの自己肯定感を育む  
ことの大切さについてお話していただきました。



後半は、ベっぴ子育てLaboのメンバー3名の方に登壇していただき、橘さんを囲んで、子育ての悩みや子育てでの父親の役割などについてパネルトークを行いました。

今回は111名（オンライン含む）の市民のみなさまに御参加いただき、無事開催することができました。



**感想の一部を掲載します。ぜひ、ご一読ください！**

- ・今、ひとり親で子ども2人を育てています。上はもうすぐ20才、下は小6です。父と母そろって2人で子どもを育てていきかけたけれど、途中から叶わなくなりました。笑ってられるように自分自身が楽しく生きていきたいと改めて思いました。本当にいろいろあります。グチをこぼす大人がもう一人そばにいてくれたらと思うことも正直あります。けれど、イヤな所はなるべく見せずに子どもと楽しめたら、人生笑っていけると思いました。お話が聞けて本当によかったです。
- ・ああちゃん、さやかさんの本を読んでいました。ご本人にお会いできてとても嬉しく思います。ああちゃんが実際に体験したからこそその子育てに役立つ内容がギュッと詰まったお話であったと思います。どの親も手探りして親子で成長していく中で、良い情報、笑顔になれる情報はとても有効有意義だと思います。ありがとうございました。
- ・ビリギャルは映画で見ました。子どもが高校受験を控えていて、本人は全く勉強をせず、私は怒ったり、あきらめたりいろいろな感情の毎日です。ああちゃんママはどういう対応をしてきたのだろうととても興味があり参加しました。本当に共感できる部分がたくさんあり、ずっとうなずきながら聞いていました。子どもがどんな子でも信じぬいて、共に笑って泣いて悩んでの時間を過ごそうと思いました。今までの日々をふり返って“どうしてああしたんだろう”と後悔が多いのですが、まだ遅くないと前向きに考えて子どもに大好きと言ってもらえるお母さんになりたいです。参加してよかったです！
- ・子育てダメダメだった自分を思い出しました。子どもたちは大きくなりましたが彼らを信じて寄りそっていきたいと思います。反省もこめて。
- ・お話を聞きながら映画が思い出されました。どうしても自分に余裕がないと、子どもに対して優しくなれず、いらいらしたりが多くなりがちです。お話を聞いてもう少しゆっくりでよいのかな、と思いました。
- ・生で貴重なお話を聞くことができよかったです。ありがとうございました。頭では理解しているつもりでも子育てのその時その時の感情で忘れてしまうことばかり。このような機会が有難いです。
- ・橘さんのお話とてもよかったです。自分の子育てを思いかえした時、子どもがいろんな行動を起こした時に、心からそこに存在してくれるだけでいい、生まれてきてくれてありがとう、という気持ちになれたことを思い出しました。月日が経ち、また子どもに欲を押し付けてる自分がいます。あの時の気持ちを思い出させてくださりありがとうございました。
- ・橘さんのお話はとても興味深くあっという間の時間でした。毎日忙しくなかなかゆっくり子どもと向き合う時間がないのですが、今日のお話を聞き、少しの時間でも笑顔で向き合っていきたいなと思いました。
- ・自分はまだまだわが子を信じきれないように思い反省しました。目先の子どもの成長などにとられるのではなく、子どもが笑顔でいてくれることを喜び、子どもの言うことに共感してあ

げられる、そしていつも笑顔でいるような親でありたいと思いました。貴重なお話をたくさん聞かせていただきありがとうございました。

- ・ 小学校のPTAとして来ました。めったに聴くことができない貴重なお話が聞けてよかったです。子どもが4年生、なかなか自分の思うように子育てが出来ていなくてどうしたらいいんだろうと思う日々でしたが、今日のお話を今後に生かせたらと思います。
- ・ 子育ては終わってしまいましたが、子育てだけでなく人間関係にも生かせるお話を聞くことができ、改めて自分の考えを見直してみたいと思いました。
- ・ 私は60代の女性で3人の子どもたちを育てました。子育て中、子どもたちの思春期、目的が見つからない、学校が楽しくない、と訴えは、私の答えは余裕もなく、なぜそう思うのか、どうして学校に行きたくないのか、子どもたちの内なる声を聴こうとしていませんでした。孫が育つ中、ふり返りをする機会が多くなり、孫たちには「どうしてそう感じるの、そう思うの、学校がおもしろくないの」とゆっくり聞いてあげられる祖母になっていると感じています。子どもたちの“できる”ところに焦点をあて、自己肯定感が育ってほしいと思います。
- ・ ビリギャルママの橘さんの子どもたちとしっかり向き合う姿にとても心をうたれました。常に子どもの気持ちを尊重する姿、言葉、学ぶことがたくさんありました。子どもたちへの愛情がすばらしい。
- ・ 自分は中学生で親に支えてもらっている部分が多くあるのですが、今日の講演を聞いてとても心に残り、親の大切さを知ることができました。ありがとうございました。
- ・ 親の都合、枠に入れてはいけない、という言葉が大変印象的でした。人生の先輩として方向づけてあげたいと思うけれど、選択肢を広げられるような関わり方をしたいです。わが子はまだまだ「ギョッとして」と言ってくるのですが、いつまでも愛情を伝えていきたいです。